

平成 30 年度第 1 回東浦町地域公共交通会議 会議録

会議名	平成 30 年度第 1 回東浦町地域公共交通会議
開催日時	平成 30 年 5 月 24 日（木）午前 9 時 30 分から午前 11 時 00 分まで
開催場所	東浦町役場本庁舎 3 階 合同委員会室
出席者・欠席者	別添「平成 30 年度第 1 回東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
議題	(1) 平成 29 年度事業報告及び決算報告について【報告】 (2) 「う・ら・ら」年度別状況及び乗車人数（路線別・停留所別）について【報告】 (3) 企画乗車券について【協議】 (4) 平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正に向けた調査等について【協議】
その他	平成 30 年度第 2 回東浦町地域公共交通会議の開催予定について
傍聴者の数	6 人

審 議 内 容

◆防災交通課長

定刻となったため、会議を開催する。

◇会長

今回は議題が 4 つある。皆様の意見、ご協力をお願いする。

◆防災交通課長

始めに、昨年 3 月末で本会議の委員の任期が満了したため、委員の委嘱をする。本来なら、町長より委嘱書を渡すところではあるが、予め座席に委嘱書を配布させていただき、ことで交付とさせていただく。任期については、平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までである。委員の紹介については、委員名簿に代えさせていただくが、新任となる方のみ紹介する。

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、27 名中 25 名で、定足数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項により、本会議が成立したこと及び同条第 4 項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は 6 名であることを報告する。また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

次に、役員の名指をする。本会議設置要綱第 5 条で、会長は委員の内から副会長と監事を指名すると規定されている。会長より副会長及び監事を指名する。

◇会長

本会議の副会長に、名古屋大学大学院加藤博和教授、監事に、緒川連絡所長の久米弘さん、東浦町商工会会長の成田盛雄さんを指名する。引き続きとなるが、よろしく願います。

◆防災交通課長

それでは引き続き議事に入らせていただく。

◇会長

次第に従い議事を進める。議題 1 平成 29 年度事業報告及び決算報告について、事務

局から説明を求める。

議題1 平成29年度事業報告及び決算報告について・・・資料1-1、1-2

◆事務局A

資料に沿って説明をする。

まず、資料1-1の平成29年度の実業報告について説明をさせていただく。1「地域公共交通会議」については、平成29年度は3回開催し、「う・ら・ら」の乗降状況や事業評価、東浦町地域公共交通網形成計画の変更などについて協議を行った。

2「「う・ら・ら」タクシーの運行」については、「う・ら・ら」を通学用バスとして利用している児童の乗りこぼし対策・安全対策の補完として平成29年4月から実施した。また、本事業については平成30年度も継続して実施する。

3「「う・ら・ら」バス停留所の修繕等」については、「う・ら・ら」の利便性向上のため、バス停の時刻表防護版の取替を実施するとともに、台風等で倒れる可能性のあるバス停について修繕を実施した。

4「公共交通検索サービスを導入」については、「う・ら・ら」や電車の乗り換え案内を可能とする公共交通検索サービスを導入した。利用可能サービスとしては、NAVITIME（ナビタイム）とジョルダンとなる。

5「う・ら・ら」バスギャラリーについては、ハロウィンバスとクリスマスバスを運行した。内容としては町内の児童館や保育園の子どもたちに描いてもらった絵などをバスに飾り付けて運行したものとなる。

6「う・ら・ら」&エコモビ達人教室では、小学生になった時に「う・ら・ら」で通学する藤江保育園及び東ヶ丘幼稚園の年長児を対象に、「う・ら・ら」の乗り方と併せて、バスに乗ることが地球にとって優しい乗り物だということの話をした。なお、緒川保育園については、天候不良により中止となった。

7「路線バスの広報等」は、産業まつりに出展し、「う・ら・ら」や知多バスを紹介するとともに、「う・ら・ら」を親しんでもらうために「う・ら・ら」のペーパークラフトなどで子供達に遊んでもらった。

8「有料広告」については、平成29年度は968,839円となっている。積極的な声掛けにより、年々上昇傾向となっている。今後も収入確保に努めていきたい。金額が細かくなっているのは、有料広告が落下し、掲示できなかった期間に対して一部返金したためである。

続いて、資料1-2、決算書について説明する。歳入については、東浦町からの負担金が533,000円、預金利子が2円となり、合計533,002円となっている。

次に、歳出については、地域公共交通会議委員の報償費が275,000円、会議用のお茶代が5,134円、東浦町地域公共交通会議負担金返還金252,868円となっている。なお、会議で使用しなかったお金はすべて町に返還することになっている。返還金のほとんどは委員の報奨金関連であるが、主な理由としては会議の開催回数が予算の開催回数より少なかったためである。

また、決算関連資料については、監事の方に確認していただいていることも合わせて報告する。

◇会長

決算の内容について、監査委員の意見を伺う。

◆委員A

4月27日に緒川コミュニティセンターにて、監査委員である久米弘及び成田盛雄で、決算書類等を監査した。内容としては適正に処理されていたことを報告する。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◇会長

意見がなければ、次の議題に移らさせていただく。

◆全委員

異議なし。

**議題2 「う・ら・ら」年度別状況及び乗車人数(路線別・停留所別)について【報告】・・・
資料2-1、2-2、2-3**

◆事務局A

資料に沿って説明する。

資料2-1、年度別状況については、利用者人数は、平成29年度は262,038人で、平成28年度と比較して6,224人増加した。委託料総額は、70,844,764円、運賃収入と事務手数料を含めた収入金額は、16,773,209円、国の補助金は、10,227,000円、支払委託料は、43,844,555円となる。住民一人当たりの年間負担額は、870円である。

平成28年度と平成29年度の運賃収入を比較すると、612,277円のプラスである。内訳をみると、現金が328,277円増加、回数券と定期券は284,000円増加している。

国からの補助金は、10,227,000円だが、東ヶ丘長寿線と平池台長寿線で補助を受けているため、その内訳(東ヶ丘長寿線5,881,000円、平池台長寿線4,346,000円)も載せている。

資料2-2、路線別乗車人数について、表1は、各路線の月毎の乗車人数等を載せている。表2は、平成19年度からの利用者数の推移、表3は、平成28年度と平成29年度の各路線の比較、表4から表8は、各路線の平成28年度と平成29年度の月毎の利用者数の推移を載せている。月別合計を見ると8月を除く全ての月で増加となっている。路線別で見ると長寿線のみ減少となっているが、その他は全て増加となった。1便当たりの乗車人数もほとんどが増加している。

資料2-3、平成29年度停留所別乗車人数について、月毎の数値を載せている。資料右下に28年度と29年度の増減人数と増減率のトップ5・ワースト5を載せており、その中で気になった点について吹き出しで補足している。相生の丘については、朝の通学便の利用増があるため、大きく増となっているが、夕方の緒川駅方面の通勤利用者や学習塾利用等も多く、大きな利用者増となっている。平池台については、通学利用者は増となっているが、その他の利用者が減となっている。JA東浦支店については、平日の定期利用者が増となっている。県営住宅については、朝の緒川駅方面で大きく減となっているが、高齢化のため今まで利用していた方が利用しなくなっているのではないかと考えている。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員 A

「う・ら・ら」タクシーの利用者はこのカウントに含まれているか？

◆事務局 A

長坂商店でカウントしている。

◇副会長

今回の利用者数は史上最高の利用者数となっている。小学生利用者の増だけで増えたとなると寂しいが、その他の利用も増えているため、良いことである。ただ、これ以上増やすためには、今のダイヤでは厳しい。何か考えないといけない。長寿線については増減率を見ても悪いところが多い。何かしらの対策が必要である。県営住宅については、高齢化というものもあるが、刈谷方面への行きづらさが要因かもしれない。そのあたりをよく考え、ダイヤを決めていかなければいけない。また、世代別でどこに行くために「う・ら・ら」を利用しているのかなども調べるとよいかもしれない。

◆委員 B

新田分団詰所が大きく減となっているが、イオンへの利用が減となっているのか？

◆事務局 A

午前のほとんどの便で減となっているため、イオンへの利用者は減となっていると思う。また、通勤利用者等がいなくなってしまう可能性もあると思うがはっきりとした理由まではわからない状況である。

◆委員 C

石浜駅や東浦駅で利用者が減となっている。乗り継ぎ時間があまりよくないことが要因と思うので、次回はもう少し乗り継ぎに配慮したダイヤの検討もお願いしたい。

◇会長

現状、JR との乗り継ぎ時間の状況はどんな感じか？

◆事務局 A

「う・ら・ら」と JR の乗り継ぎ時間は合わせられていない。偶然合っているものもあれば、合わないものもあるというのが現状である。どこまで合わせられるかわからないが、次回のダイヤ改正時に検討させていただく。

◇会長

その他なければ、次に移らせていただく。

◆全委員

異議なし。

議題 3 企画乗車券について【協議】・・・資料 3

◆事務局 A

資料に沿って説明する。

今年度の夏休み期間中に「う・ら・ら」乗車体験キャンペーンとして、小中学生を 1 乗車 10 円にしたいと考えている。期間としては平成 30 年 7 月 21 日（土）から 9 月 2 日（日）までとし、子供同士の利用や家族連れの買い物客などの新規利用者の獲得を図りたいと考えている。会議承認後、国に申請するとともに、広報などで周知を図りたいと考えている。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員 D

なぜ 10 円なのか？無料でもよいのでは？

◆事務局 A

10 円とした理由は、子供たちに 10 円を入れるという体験もしていただきたいと考えているからである。

◇副会長

子供たちは 10 円を入れるという行為も新鮮で楽しむことができるため、10 円というのはいい体験になるし、無料となると、申し訳なさが出て、乗りづらくなる人もいるというのが分かっているため、10 円の方がいいと思う。また、この企画は面白いので、マスコミ等にも情報提供した方がよいと思う。

◇会長

チラシに例示として「於大公園プール」と「映画館」の記載があるが、何か理由はあるのか？

◆事務局 A

子供達は夏休みに何をしたいのかを考え、その 2 つを記載したが、何か他にいい意見があれば、修正することは可能なので教えていただければと思う。

◇副会長

他市町村のコミバスでもプール利用で利用者が増えているところがあるので、夏のプールというのはいいと思う。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

議題 4 平成 31 年度「う・ら・ら」ダイヤ改正に向けた調査等について【協議】・・・資料 4-1、4-2

◆事務局 A

資料に沿って説明する。

資料 4-1 はダイヤ改正に向けた調査等の進め方のスケジュールとなる。

調査等のスケジュール案としては、7 月に公共交通講演会とグループインタビューを実施、9 月頃に住民アンケート調査等を実施することになっている。住民アンケート調査等については、公共交通講演会とグループインタビューの結果を受けて作成したダイヤ改正(素案)をもとに実施する予定である。

資料 4-2 については、現在決まっていることについて記載している。

まず、公共交通講演会については、7 月 8 日(日)の 13 時 30 分から東浦町文化センターで実施する。基調講演には富山大学の猪井准教授を、コーディネーターには名古屋大学の加藤教授にお願いする。基調講演後には意見交換会として、参加者のダイヤ改正に対する意向把握をしたいと考えている。

次にグループインタビューについては、町内の 7 小学校区と上高根台を含む東ヶ丘地区の 8 地区で実施する。各地区 1 時間 30 分から 2 時間程度の予定で、8 人から 10 人程度で、運行方法等について議論する。日程については記載のとおりである。

最後に住民アンケート調査等については、先ほど説明したとおり、グループインタビュー等を踏まえて作成したダイヤ改正（素案）に対する意向について、調査をしたいと考えている。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員 E

東浦駅にて JR のダイヤと合っていないのが気になる。JR のダイヤ改正もあり、調整が難しいのはわかるが、JR との乗り継ぎに対し余裕をもって「う・ら・ら」のダイヤを組めば、問題なくできるのではないか？

◆事務局 A

「う・ら・ら」のダイヤを作成するときに中心に考えているのは緒川駅での「う・ら・ら」同士の乗り継ぎ時間と緒川小学校の通学便のダイヤである。加えて、乗務員の休憩時間等決められた時間も考慮しなければならないため、どうしても JR との乗り継ぎが難しくなっているのが現状である。ただ、JR との乗り継ぎも重要と考えているため、可能な限り検討をしていきたいと考えている。

◆委員 D

講演会とグループインタビューは広報で周知するのか？

◆事務局 A

講演会は広報に掲載する予定だが、グループインタビューは住民からメンバーを募集するというものではないため、掲載する予定はない。グループインタビューのメンバーの募集は各地区の連絡所長さんに依頼している。

◆委員 C

グループインタビューでダイヤ改正の素案に対して検討するという事なので、地区としても勉強してからグループインタビューを挑みたいので、素案の資料を早めにいただきたい。

◇副会長

グループインタビュー後に素案を作成していくということになるため、勉強するという事であれば、現段階で決まっている網形成計画を見ていただくということになる。また、メンバーとしては「う・ら・ら」を利用していない方でもいいが、公共交通に興味をもった方を集めていただきたい。

◆委員 F

刈谷市でも平成 30 年 4 月にダイヤ改正を予定しているため、その点も考慮していただければと思う。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

その他

◇会長

その他で何かあるか？

◆防災交通課長

次回の会議日程については、8月下旬を予定している。また、詳細については近くなったら連絡させていただく。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。